

今年の締めは地元の冬フェス!

CHIKUSA THE MUSEUM 2014

ちくさ座ミュージアム

HATE NO FANTASIA!!!

果てのファンタジア

12.20 (SAT) ~ 28 (SUN)



千種文化小劇場 {ちくさ座}

千種文化小劇場(ちくさ座)を貸し切って冬フェスを開催!
音楽ライブやチャリティーイベント、ダンス音楽劇など
幅広いジャンルのアーティストが名古屋を盛り上げます。

Chikusa
city
SAKURA
December
2014

各日イベント詳細は次頁をCheck



12/27・28の総合舞台
に登場するキャラクター
「ハン」。ダンサー加藤お
りはさんをイメージ。

新しいことで名古屋を盛り上げたい! 注目アーティストが集結する9日間。

「(ちくさ座)名古屋で、どこにもない面白いものを作ろう」
そう立ち上がったのは、舞台関係の仕事に携わっていた一人の男性でした。
前代未聞、ちくさ座で新しい文化が生まれる

名古屋から発信する 新しいフェス!

「『名古屋飛ばし』という言葉があるように、名古屋では、活躍しているアーティストが多くいるにも関わらず、あまりフェスや公演が開催されない。名古屋で何かおもしろいことができれば、アーティストにとっても地域の人のにとっても、良い刺激になるんじゃないかとずっと思っていました」と話すのは、CHIKUSA THE MUSEUM 2014の発起人・吉兼正和さんです。舞台関係の仕事に携わり約20年、さまざまなジャンルの舞台をより近くで見えてきたからこそ、「名古屋で面白いことを」との想いは強く、東京や大阪でもやっていないことをやりたいと、今回の開催にこぎ着けました。

「音楽、芝居、ダンス、映像、デザイン、衣装、照明、脚本...さまざまなジャンルで活躍するアーティストを集め、力を集結し突き詰めてみたらどうなるのか、これこそが今回の企画。一言で音楽といっても、激しいミュージシャンからソプラノ歌手、ピアニストと幅広く、今まで意識をしていなかったジャンルとの出合いや発見がある場所になるはず。アーティスト同士がどう交わるのかも、ぜひ楽しみにしてほしいです」。

テーマは

『HATE NO FANTASIA!!!
(果てのファンタジア)』

9日間の内、一般来場者向けのイベントを開催するのは6日間のみ。笑えて泣けるフラメンコに始まり、ライブ、チャリティーイベントと続き、新感覚の総合舞台で締めくくります。

『果てのファンタジア』は、ローマ字表記では『HATE NO FANTASIA』で、英語では『Hate = 嫌い、憎しみ』『No = 無さ、否定』『Fantasia =

幻想、幻想曲』という意味になります。このテーマから読み取れるキーワードを基に、アーティストがそれぞれの観点でイベントを創ります。テーマが壮大ですが(笑)、難しく考えずに、非現実的な世界が広がると想像してみてください。

舞台となる千種文化小劇場(ちくさ座)は、客席が中央の舞台をぐるっと囲む円形舞台が特徴。どうしてもこの円形舞台を使いたかったと言う吉兼さん。「全国に4カ所ほどしかない珍しい舞台なんです。お客さんとの距離が近く、自由度がある。実は、2年前にもこの場所です。『ちくさ座ミュージアム』を2日間開催しました。その時にもっと大きなことをやれると確信し今回を企画しました。イベントは、定着させることが何より大切。今後は子ども向けの内容や、ワークショップ、フリーマーケット、お芝居の要素をもっと取り入れてみたい。今回をきっかけに、『おもしろいもの好き』が増えて、みんなと一緒に名古屋を盛り上げていきたいですね」。



総合プロデュース
吉兼正和

